

SEIGAIHA

新潟産業大学報 青海波

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

2022 vol.35



特集

東京2020オリンピックに出場 1

| | |
|----------------|----|
| CAMPUS TOPICS | 3 |
| クラブ・サークル活動 | 4 |
| 授業紹介 | 5 |
| 図書館だより | 6 |
| キャリアサポート | 7 |
| 地域とのつながり | 9 |
| ネットの大学managara | 10 |
| INFORMATION | 11 |



新潟産業大学
NIIGATA SANGYO UNIVERSITY



特集

本学から初のオリンピック！ 東京2020オリンピック水球競技に3名が出場しました

水球部の稲場悠介さん（経済経営学科3年生）、水球部OGの小出未来さん（文化経済学科平成26年度卒業生）、水球部アシスタントコーチの棚村克行さんが東京2020オリンピック水球競技に出場し日本代表選手として活躍しました。

星野三喜夫学長から選手へのメッセージ

3年生の稲場悠介君、卒業生の小出未来さん、水球部アシスタントコーチでチーム守護神GKの棚村克行さん、改めて東京オリンピック出場、おめでとうございます。そして、お疲れさまでした。本学関係者が3人も一気にオリンピックの舞台に上がる… 本学にとりこれほど荣誉なことはありません。学長としてこの偉業と一緒に喜べたのは、私個人としても大変光栄でした。3人のオリンピック出場は、新潟県はもとより、柏崎市、そして何よりも新潟産業大学開学以来の快挙です。各方面から大学に対し数多くの声援を頂きました。無観客のオリンピックとなったため、東京辰巳国際水泳場に応援には行けませんでした。学内のパブリックビューイングとテレビでしっかり観戦させて頂きました。海外の強豪国選手に比べ格段に差がある中、3人は、得点も、守りもしっかりやってくれました。結果、稲場君はリーグのセカンドベ

ストスコアラ、また棚村さんもセカンドベストスチラーに選出されました。小出さんは日本女子水球初のオリンピック出場の中、フローターとして見事なシュートを決めてくれました。

「水球のまち柏崎」というキャッチフレーズがあります。ここからは、「水球に強い新潟産業大学」というフレーズを加えたいと思います。皆さんは産大の誇りです。産大を代表しここに改めてお礼を言います。本当にありがとうございます。Very many thanks! そしてこれからも益々のご活躍を期待しています。



8月24日本学にて開催された「オリンピック報告会」にて。
左から棚村克行さん、星野三喜夫学長、稲場悠介さん、小出未来さん

本学から初のオリンピックとなった3名の選手は、オリンピックという大きな舞台で活躍する姿を見せてくれました。

稲場さんは予選リーグで14得点をあげ、ベストスコアラ第2位に選ばれました。第1位の選手とはわずか1点差で、日本の若きエースとしての力を発揮しました。小出さんは、日本女子チームのオリンピック初得点をはじめ、多くの点を決めチームに貢献し、攻撃の要として活躍しました。棚村さんは、多くのフィールド選手をおさえゴールキーパーとしては異例のベストスチラー（相手のパスをカットした本数）第2位に選ばれ、守護神としてその圧倒的な強さを見せました。男女ともに予選リーグ敗退という結果ではありませんでしたが、男子はロサンゼルス大会以来37年ぶりとなる歴史的な1勝をあげ、女子はオリンピック初出場ながら、強豪国相手に健闘しました。本学からの東京オリンピック選手出場につきまして、応援いただきました皆さまに心より御礼を申し上げます。

祝東京オリンピック出場 広報活動を紹介しします

柏崎市長を表敬訪問

本学から東京オリンピック選手が選出されたことについて、6月2日に星野三喜夫学長、梅比良眞史理事長、経済学部助教で水球部の佐々木洋輔監督の3名が柏崎市長を表敬訪問しました。(稲場悠介さんは当時柏崎以外にも練習拠点があり、コロナ蔓延下で政府から人流抑制の要請があったため欠席。) 櫻井市長からは、「水球によって市が活気づけられている。稲場君は現役の学生であるし、新潟産業大学からオリンピック選手が出るのは本当に素晴らしい。」と賛辞をいただきました。



懸垂幕、のぼり旗を設置



日本代表決定記者会見を開催

日本代表チーム合宿拠点の東京都において6月18日に記者会見を開催し、稲場悠介さん、金子和裕学長補佐、佐々木洋輔監督が出席しました。稲場さんはオリンピック出場への意気込みや、これまでの海外での経験などについて語りました。

当日は、オンライン参加を含めて15社の報道機関が集まり、多くの記事で取り上げられました。



応援ポスターの作成

東京オリンピックでの活躍を応援するポスターを作成しました。学内での掲示のほか、市内の公共施設や飲食店、保育園、幼稚園、小中学校、そして県内の高等学校へ配布し、出場選手のPRをしました。



東京オリンピック試合をテレビ観戦

7月29日、東京オリンピック水球男子予選リーグのギリシャ戦を、学生食堂のテレビで水球部学生や教職員が観戦しました。水球部学生がうちわやボードに出場選手への応援メッセージを書き、大学ロゴ入りのマスクを着けて皆で応援しました。白熱の接戦に、大きな拍手をして盛り上がりました。



本学にて報告会を開催

オリンピック終了後の8月24日、稲場悠介さん、小出未来さん、棚村克行さんが来校し、大会の報告を述べました。選手の皆さんは「柏崎、そして産大だからこそ、これまで水球を続けられた」「オリンピックは他の国際大会とは違い、非常に重みを感じた大会だった」と語り、星野三喜夫学長からは「外国の選手と体格差がありながらも、攻撃も守りもよくやった」と労いの言葉がかけられていました。



学園祭「紅葉祭」復活

れました。

それでは、開催されたイベントのいくつかをご紹介します。

「私の主張 in 産大」

(スピーチコンテスト)

中国、インドネシア、スリランカ、モンゴルの留学生や日本の学生が参加しました。

コロナ禍において紅葉祭を実施するかしないか、時間をかけて検討してきました。毎年2日間開催していましたが、今年は規模を縮小し1日に。そして、学生と教職員、学内関係者のみで実施することに決まり、感染対策もさまざまな状況を想定しながら、万全に準備を進めてきました。

前日までの天気予報は雨でしたが、当日は打って変わり紅葉祭日和の快晴となりました。中庭や学内ロビーでは各種模擬店（餃子、ワッフル、海鮮網焼き・など）や写真部の展示など、各教室ではゼミナールの活動報告や部活・サークルのイベント、そしてメインステージでは軽音楽部のライブやビンゴ大会が行わ



「花は大学で咲かせる」を発表

「花は大学で咲かせる」「挨拶で世界を変える」「日本について思う事」などの演題で、充実した内容のスピーチが披露されました。来場者からは、「みなさんとても素晴らしかった」「留学生の発表は日本人も気づくべき大切な内容だった」「たくさんの方に聞いてほしいかった。来年も楽しみにしています」など、多くの感想が寄せられました。

「各種模擬店」

コロナウィルス感染予防対策を万全に行った模擬店では定番の餃子や焼きそばのほか、海鮮網焼き、大きな田楽、地産地消のジャムをトッピングしたワッフル、留学生のベトナムフライドポテトなど多彩な食べ物がありました。模擬店終了後に行われた「模擬店コンテスト」で優勝に輝いたのは「けっちゃんのおいしい焼きそば」でした。

「茶道部」

本学茶道部の流派は「裏千家」です。愛知県出身の部員が地元の名産「ういろう」と「なごやん」をチョイス。お客さまの前で緊張した様子でしたが、お点前もお道具の説明も一つひとつ丁寧で心落ち着く空間でした。

毎週欠かさず稽古を重ねてきた成果が表われていました。

「ビンゴ大会」

紅葉祭のメインイベントはビンゴ大会。数字が読み上げられるたびに、カードを手にした学生たちからため息や喜びの声があがりました。チョコレートやカードゲーム、ワイヤレスイヤホン、高額なものはプレイステーション5やスウィッチなどさまざまな景品があり、会場には歓喜の声が響きわたり、盛り上がりを見せたイベントになりました。



ビンゴ大会



茶道部によるお茶会



模擬店コンテスト優勝店

今年の紅葉祭は規模を縮小しての開催でしたが、多くの学生や関係者が参加し、楽しく過ごすことができた1日でした。

学友会・学生行事実行委員会の学生たちは今までに経験したことのない状況に直面した中で準備から後片づけまで大変な苦労もありましたが、滞りなく学園祭を終了させたことは貴重な経験となり、大きく前進・成長しました。

次年度こそは、盛大な学園祭が実施でき、多くのお客さまがご来場できることを祈っています。



学友会・学生行事実行委員会のメンバー



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本学ではガイドラインを作成し、クラブ・サークル活動に行動制限を課しました。

令和3年10月に実施した学生生活アンケートの結果では、コロナ禍において大学全体の部活動やサークル活動の参加率が若干減少しました。中でも特に、強化指定部である水球部、ライフセイビング部、卓球部、サッカー部、空手道部は、練習や試合、遠征などにおいて、思いどおりの活動ができずに、もどかしい気持ちになったことでしょう。しかし学生達は行動制限の中でも前向きに部活動に取り組んでいました。

部活動の方法を模索しながらも結果を出した今年度の活動の一部をご紹介します。

水球部 インカレ〔銅メダル〕

「第97回日本学生選手権水泳競技会水球競技」(インカレ)において、強豪チームが出場した中、本学男子チームは第3位を獲得しました。



祝勝会 学生から花束を受け取る朝廣主将

練習拠点の県営プールがコロナ蔓延を受けて大会直前に利用不可となった中でも、海に自作のコートを作り、三密を回避した練習を継続した結果の勝利です。

後日、このことを学生・教職員で祝おうと、昼休み時間を利用し、祝勝会を催しました。

星野学長、蓮池学生委員長の挨拶の後に佐々木監督と朝廣主将から応援に対するお礼と今後に向けて力強い決意表明がありました。

本学水球部の目標はインカレで優勝することです。これに向かって日々精進し、邁進する水球部の活躍を期待しています。

皆さま、どうぞ応援のほどよろしくお願いいたします。



「百折不撓」何度失敗して挫折してもくじけず立ち上がること

空手道部 北信越大会 第3位

9月に予定していた第66回北信越大学空手道選手権大会がコロナウイルス感染拡大の影響により延期になり10月に開催されました。

本学空手道部は団体戦に出場。

五十嵐主将は「北信越大会で優勝することができずに残念でしたが、大学最後の大会として全日本選手権大会に出場することができてよかったです」とコメント。

1年生の部員からは「大学に入学し、初めての大会でビシバシ相手を攻め、勝つことができました」と頼もしいコメントがありました。



監督とともに入賞を喜ぶ少数精鋭の選手たち

その後、東京の日本武道館で行われた全日本大学空手道選手権大会では、残念ながら1回戦で敗退となってしまいました。五十嵐主将は、「毎回出場している全国大会とはいえ、やはりその壁は厚く圧倒されます。全国大会に出場したことは誇りに思いますが、本領発揮できなかったことに悔いが残ります。この経験を次の世代に引き継ぎたいと思います」とコメントしてくれました。

少数精鋭の空手道部では、新入部員を積極的に募集しています。興味のある方はぜひ入試・広報課までご連絡ください。

書道部の活動

書道部は外部から先生をお招きし、毎週水曜日15時から活動しています。雰囲気は堅苦しくなく、書きたい文字を自由に選び、練習をしています。文字だけでなく、文字に寄せた絵の描き方も教えてくださるので、素敵な作品を完成させることができます。

12月は、パフォーマンス用の大紙を使用して新年用の作品を学内ロビーに飾り付けるための準備にとりかかりました。

一つは「謹賀新年」の文字と虎の絵の作品、もう一つは留学生の母国語である韓国・中国・インドネシアなどの言葉で新年の挨拶を書いた作品です。いずれも学生の感性が活きた作品になりました。



完成直後は、作品を乾燥させます

産大の授業をズーム!

～教務のはなし～

今回フォーカスする授業は、地域に学び、地域をおこす「地域理解ゼミナール」です。

「地域理解ゼミナールとは」

教授 阿部 雅明

本学は、「地域に学び、地域をおこす」を地域実践教育のスローガンとしています。そこで、2019年度から新設された科目が地域理解ゼミナールです。1年次に地域理解ゼミナールⅠ・Ⅱ、2年次に地域理解ゼミナールⅢ・Ⅳが必修科目として配置され、6つの分野（地域経済政策、地域企業経営、地域観光・スポーツ、地域農業・6次産業、地域文化、コミュニティ・まちづくり）について、学生は少人数クラスに分かれ、フィールドワークを体験しながら地域理解を深めることを目的に学習を進めます。

1・2年次に地域について深く学び、そして大学における学びの後半期（3・4年次）の地域活性ゼミナールでの本格的な研究をするための準備をすることが本講義の目的です。

1・2年次の地域理解ゼミナール、3・4年次の地域活性ゼミナールという4年間かけたゼミナール教育を通じて「地域に学び、地域をおこす」人材の育成を本学は目指しています。

地域企業経営分野

教授 今村 英明

創業から百年を超えた企業を「長寿企業」と呼びます。新潟県は、京都府と並んで全国有数の企業長寿地域です。中でも本校の地元、柏崎市の東・西本町地区は、長寿企業比率が日本一高い町です。そうした地域の特徴を活かし、当ゼミでは、地域の長寿企業スタディを行っています。

今年度は、地域の長寿企業や老舗の6社をゼミ一同で訪問し、経営者の皆様から創業の経緯や沿革、困難な時期を乗り越えてきた代々のご経験などをお聞きしました。過去の成功体験に甘んぜず、地域に密着しながら、果敢に新たな試みにチャレンジしてこられた結果が長寿につながっていることを学びました。また「今のコロナ禍こそが創業以来最大の危機だ」として、必死に経営の舵取りをされている経営者のお姿に一同深い感銘を受けました。

長寿企業は、地域に根ざし、しかも地域を越えて羽ばたき、そして永年風雪に耐えて生き抜いてきた、文字通り「地域の宝物」です。持続可能な経営の秘密を学びつつ、「地域の宝物」がこれからも輝き続けられるように、当ゼミも一緒に応援していきたいと思っています。

(写真上:浪花屋での様子・写真下:ノマタ酒店での様子)



地域観光・スポーツ分野

～地域観光～

専任講師 春日 俊雄

今般のコロナ禍で、観光産業は深刻な打撃を受け、その影響が多方面に広がっています。そして観光が日常生活におけるストレスや疲労の回復、精神的な充足感に重要なのだと改めて気付かされました。

地域観光は、人口減少により地域経済が急激に縮小して行くことに対する激変緩和策の一つとして期待されています。

授業では、地域の自然や風土、歴史・文化、産業、お祭り・イベントなどに興味を持ってもらえるよう「柏崎の歴史四大エピソード」に加えて、「柏崎の観光スポット」「松雲山荘&木村茶道美術館」「米山さん」を深掘りして学んでいきます。

また、本物に触れる文化観光として、木村茶道美術館に向き、国宝級の茶器による茶席体験を行っています。観光は重要な産業であると共に人生をより豊かにする大事な楽しみと考えるています。

(写真上:貞観園での見学の様子・写真下:木村茶道美術館での茶席体験)



～スポーツ～

助教 佐々木 洋輔

今夏、某テレビ局の旅番組の撮影において、お笑い芸人が柏崎市を訪れた。番組では、水球の練習中のプールにお笑い芸人が押しかけ、撮影交渉をし、水球選手と水球の対決をしていた。お笑い芸人がプールに向かうきっかけとなったのは、道路で出会った柏崎市民の言葉からである。地元のイチオシをお笑い芸人が尋ねると、その市民は「水球」と即答していた。

柏崎市役所には、「水球のまち推進室」という部署がある。全国で初となる、水球でまちおこしを行う部署である。

当該授業では、「水球のまち」事業について学び、スポーツを介したまちおこしについて議論を重ねている。今年度のフィールドワークでは市文化会館において行われた東京五輪報告会に参加し、水球のオリンピックの生の言葉を聞いた。また、イベントを運営した市職員の方から水球のまちのエピソードを聞いた。当該授業によって、水球を通じてまちおこしについての学生の理解の深まりを感じた。

(写真上:東京五輪報告会にて有名水球選手の等身パネルと記念撮影・写真下:市職員の方による講話)



安達教授のオススメ本

『古代日本正史—
記紀以前の資料による』

原田常治(著)/同志社

著者が全国の神社を訪ね、縁起から日本古代史を実証的に解き明かそうとした労作です。私が古代史に興味をもつ端緒となり、また、既存の通説や権威にも、科学的な根拠を基に対峙することの重要性を実感した本でもあります。絶版になっているのが残念です。

(安達明久)

先生方の
オススメの本を
教えてください

Part III

※本学図書館に所蔵されていない本は、公共図書館で借りることが出来ます。各図書館ホームページで検索してみてください!

今村教授のオススメ本

『禪ゴルフ—メンタルゲームを
マスターする法』

Dr.ジョゼフ・ペアレント(著)/
塩谷紘(訳)/筑摩書房(ちくま文庫)



「これいいよ」とある企業経営者に薦められたのがきっかけ。ここ10年位愛読しています。ゴルフの方はちっとも上達しませんが、生き方やモノの見方が変わりました。電子ブックもあり。著者録音のオーディオブックも聴きやすく英語の練習になります。(今村英明)

これからの幸福と読書

片岡直樹

経済の素人でもこれくらいの予測はできる。

日本人の給料は過去30年間ほとんど上がっていないという。さりとて急に景気が良くなる要素は見当たらず、人口は減り続ける。よって今後10年たっても20年たっても給料は上がらない。しかも物価が下がってくるとは思えない。

つまりは金を使うことで満足を得てきた多くの日本人の生き方は大きく修正を迫られるということだ。

人気の商品を買う。ゲームに課金する。パチンコ屋でストレス解消をはかる。これまでそうした方法で心の満足を得てきた人々は、おそらくたいへんな閉塞感を味わうことになるだろう。ところが人間は娯楽という名の現実逃避なしには生きられない。どうするか!?ここにこれからの読書の意味がある。

パチスロで2〜3千円するのは10分もかからない。しかし同じ金で何冊かの文庫本を買えば何日楽しめるのか。図書館を利用すれば金はかからない。

だが、現代人の多くは活字に拒否反応を示し、そこに広がる無限の楽しみを知らない。未来を生きる幼児や青少年が幸せに生きるため、彼らにはまず以て物語や小説の楽しさを教える必要がある。

高校教科書から小説を廃そうなどという文科省の方針は、これからの国民の幸福を願う姿勢とはかけはなれたものと言わざるをえない。

(新潟産業大学教授・図書館長)

郷土資料の収集活動について

本学では、地域理解ゼミナールという必修科目があります。地域経済の現状や課題についてフィールドワークを重視しながら学ぶ科目です。

地域をキャンパスにし、産業・文化・歴史を学ぶことで、各学生の地元での地域課題解決の第一につながることを期待しております。

図書館では、以前より地域、郷土資料の収集に力を入れています。県内の郷土史(県史、市町村史)はもちろん、県内が舞台となった歴史小説、県内企業関連書籍、郷土の偉人の伝記、写真集、震災の記録、報告書なども多数所蔵しています。

とくに、柏崎関連の資料については収集に力を注いでおります。

今年度は、地元柏崎に関する資料収集に恵まれた1年でした。

その中でも地域おこし協力隊のみなさんがまとめられた冊子が多く発行されました。発行された冊子には、近すぎて気づかなかつた柏崎の今や課題、地域を活かすまちづくりのヒントが多くちりばめられており、学生達が地域課題に取り組み、地域理解を深める上でも、とても大切な情報源であると思っています。

郷土資料コーナーは、図書カウンターそばにあります。

学生のみなさん、ぜひ手に取り読んでみてください。

収集した郷土関連資料一覧は下段をご覧ください。

令和3年度に収集した郷土資料

- 『門出のあしおと』 小柴康隆著
- 『68年の歩み』 柏崎ママボーナス会
- 『結—ゆい—』 坪井元春著
- 『柏の木をめざして』 はしもとかずあき編
- さかのあき・なすのゆうき著
- 『樵路』 野々垣翔太著
- 『まちの足音』 まちから5周年記念誌
- 『鶴川 茅葺き屋根の家』 布施文雄他編
- 『親日の国ポーランドとの交流と十の絆』 本間精一著
- 『美しい苔の庭』 烏賀陽百合著

※貞観園の紹介あり

閲覧席指定制の運用について

新型コロナウイルスの感染防止対策として、閲覧席に番号を振り、間隔を十分にとるなどの指定席制を取り入れてこの1年運営してまいりました。

これには利用直後の消毒を徹底できるという利点がありました。

徐々に従来の座席利用に戻していきたくと考えておりますが、状況を踏まえ、継続、緩和等の方針を検討しながら快適で安心して利用できる図書館の開館に努めてまいります。引き続きご協力願います。

一般の方のご利用について

新型コロナウイルス感染防止対策の為、現在、聴講生を除いて一般の方の図書館利用はご遠慮いただいております。

再開の時期につきましては、決まり次第、本学ホームページ内図書館のお知らせ、または図書館ツイッターアカウントでお知らせいたします。

大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

4年生の就職体験談

〜後輩へのメッセージ〜



経済経営学科4年
村田 胡桃
(兼第四北越銀行 内定)

私が就活で苦労したことを2つお伝えします。1つ目は「学チカ（学生時代に力を入れたこと）」です。面接試験の際に大学の約3年間で頑張ってきたことを伝えなくてはなりません。私には学チカが思い当たりませんでした。なぜなら、何かに熱中するわけでもなく、ただ漠然と自分の好きなことのために日々を過ごしていたからです。そうならないように後輩たちには何か一つの物事を極めてほしいです。部活、サークル、趣味など何でも良いので、その物事に熱中し、目標を立てて経験してください。そして、物事に熱中している自分を「強み」として変換できれば、より素晴らしいアピールになります。学チカに限らず、経験して得たことはそのまま就活に活かすことができるのです。

2つ目は「精神面」です。就活に不安なつきものです。内定を頂けるのかが不確かな状態で頑張るのは辛いと思います。途中で辞めたいと思うこともあって当然です。特に、選考がスタートして

からは不採用通知が届くことも多く、ダメージが大きかったです。そんな時こそ、「これで本当に後悔しないのか」と自分を戒めながら続けてみてください。そして、時にはリフレッシュも必要です。自分なりのストレス発散方法やリフレッシュ方法を知っておくのも、就活とうまく付き合う一つの手立てです。

最後になりますが、学生時代の時間はとても貴重です。今を存分に楽しんで、就活も遊びも勉強も頑張ってください。



文化経済学科4年
田邊 青海
(長岡商工会議所 内定)

私は、3年生の11月頃から企業の説明会やインターンシップに参加しました。就職活動を始めた頃、自分のやりたいことが明確になっておらず、様々な種類の企業の説明を聞き、就職課の方に相談しました。就職活動を進める中で、上手いかわないことが何度もあり、周りの友人が続々と内定をもらい、不安な気持ちになることがありました。途中何度も挫けそうになりましたが、周囲の支えも

あり、最後まで諦めずに頑張ることができました。

内定を頂いた長岡商工会議所は、地域総合経済団体として、長岡地域内の事業者の総合的な改善、発展を図ることを目的に各種業務を行っています。私は、中小企業の経営をサポートし、地元である長岡地域の発展に貢献したいと思い、志望しました。

私はゼミナールや学友会での活動を通して、地域の方との交流など、様々なことを経験しました。この経験のおかげで、コミュニケーション力が身につく、学生生活で力を注いだことや自己PRを面接で自信を持って話すことができました。そして、友人や先生、就職課の方の支えのおかげで内定を頂くことができたと思います。

なかなか思うようにはいかず、苦しい思いをすることがあると思います。大変だと思いますが、周りの人を頼りつつ、自分を信じて、最後まで諦めずに頑張ってください。



経済経営学科4年
瀧村 憲哉
(大津市 消防 内定)

私が就職活動を始めたのは、3年生の12月に行われる「就職活動集中対策講座」

に参加してからです。小さい頃から消防士を目指していたので、ある程度の進路は考えていました。公務員の試験勉強と並行して合同企業説明会などにも何度か参加し、4社ほど採用試験を受けました。2社から内定をもらい、そこで民間企業の活動には一区切りをつけ、他社は全て途中で辞退させていただき、公務員試験だけに集中しました。

私は1年生の時から大学内で実施する公務員講座を受け、ある程度は理解しているつもりでした。しかし、いざ公務員模試を受けると悲惨な結果で、自分の実力のなさを実感しました。模試をきつかけに焦り始め、自分の苦手分野・得意分野を分析し、志望先の問題の傾向や過去問についての情報を集めるなどしました。また、志望先の試験日程を調べ、科目ごとに勉強計画を立てて取り組みました。部活動は1ヶ月ほど休部し、勉強に励みました。公務員試験は教養試験だけでなく専門や面接、論文など様々な試験があり、とても大変です。心が折れそうになることもありましたが、周りの人特に友人や就職課の方々に頼り、希望していた業種の内定にたどり着くことができました。

私は大津市消防局職員として消防士の夢を叶えることができ、とても満足しています。後輩の皆さんも周りの人を頼り、自分が目指す進路実現に向けて頑張ってくださいと思います。



令和3年度の就職状況について



学生一人ひとりに寄り添う就職サポート

統計によりますと、令和4年卒業予定の全国の大卒求人倍率は1.50と、前年6月調査の1.53倍より0.03ポイント微減しました。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞の影響で、一昨年に比して0.3ポイント下落しましたが、今年は、微減したものの1.5倍台を維持し、底堅い結果となりました。まだまだ、コロナ禍における景気状況の不透明さの影響は否めません。

本学は、今年度はコロナ禍の波が幾度となく押し寄せたものの、通学による対面式授業を実施し、学生の就職活動も順調な滑り出しを見せました。しかし、中には説明会や選考試験をオンラインで実施する企業もあり、コロナ禍の影響を少なからず受けながらの就職活動となりました。

昨年12月11日(土)に「就職活動集中対策講座」を実施しました。26回を数える本学の実践的就活イベントの一つです。参加学生は、スーツに

身を包み緊張した面持ちで開会式に臨みます。その後、グループ面接試験対策のためのグループディスカッション、マナー実践演習、模擬面接(個人面接)、4年生内定者とのディスカッションなどを行いました。就職委員の教員、キャリアアドバイザー、就職課職員がその都度適切なアドバイスを行いました。学生たちは、就職活動に対する今の自分を知るきっかけとなり、また、4年生とディスカッションを行う中で、1年後の自分を思い描いていました。閉会式では、参加学生全員が一人一人就職活動に対する決意表明を行い、無事に終了しました。アンケート結果では、「大いにやる気になった」との回答が68%、「覚悟はできた」が32%と、満足のいく一日となったと思います。

本学は、コンパクトな大学の特徴を最大限に活かし、今後も学生一人ひとりに寄り添った就職支援を行って参ります。

令和3年度の就職内定状況

本学の就職内定状況 (令和4年1月末現在)

| | | 経済学部 | | |
|--------|---------------|------|-------|------|
| | | 男子 | 女子 | 合計 |
| 今年度 | 内定率 (%) | 93.6 | 100 | 95.0 |
| | 内定者数 | 44 | 13 | 57 |
| | 上場企業内定率 (%) | 14.0 | 7.7 | 12.5 |
| | 上場企業内定者数 | 6 | 1 | 7 |
| | 内定者数 (自営公務除く) | 43 | 13 | 55 |
| | 就職希望率 (%) | 88.7 | 92.9 | 89.6 |
| | 就職希望者数 | 47 | 13 | 60 |
| 前年度 | 卒業予定者 | 53 | 14 | 67 |
| | 内定率 (%) | 90.3 | 92.3 | 90.9 |
| | 内定者数 | 28 | 12 | 40 |
| | 上場企業内定率 (%) | 15.4 | 10.0 | 13.9 |
| | 上場企業内定者数 | 4 | 1 | 5 |
| | 内定者数 (自営公務除く) | 26 | 10 | 36 |
| | 就職希望率 (%) | 79.5 | 100.0 | 84.6 |
| 就職希望者数 | 31 | 13 | 44 | |
| 卒業予定者 | 39 | 13 | 52 | |

注：外国人留学生・社会人を除く
 内定率 (%) = 内定者数 ÷ 就職希望者数
 就職希望率 (%) = 就職希望者数 ÷ 卒業予定者数
 上場企業内定率 (%) = 上場企業内定者数 ÷ [全内定者数 - 公務員合格者数 + 個人経営業内定者数]

主な就職内定先 (令和4年1月末現在)

| 業種 | 内定先企業名 |
|---------------|---|
| 農業・林業 | ㈱田村農産 |
| 建設業 | ㈱レックス、㈱サンテック、㈱フクザワコーポレーション、大島電気㈱、㈱小林組 |
| 製造業 | 三星工業㈱、スワロー工業㈱、プライムフーズ㈱、㈱スリーピース技研 (㈱オータニツール、㈱本宏製作所、新潟太陽誘電㈱、杉山金属㈱) クリーン・テクノロジー㈱ |
| 情報通信業 | 富士ソフト㈱、㈱ティエム2 |
| 運輸業・郵便業 | 第一貨物㈱、アチハ㈱、全農サイロ㈱、中越運送㈱ |
| 卸売業 | 渡辺パイプ㈱、柏印柏崎青果㈱、㈱ミートコンパニオン、㈱柏崎魚市場 NTN イーストテクノス㈱ |
| 小売業 | ウエルシア薬局㈱、㈱山下家具店、アクシアルリテイリング㈱、㈱日産サティオ富山 (㈱茶のみ仲間、㈱オーシャンシステム) |
| 金融業・保険業 | ㈱第四北越銀行、柏崎信用金庫、長岡信用金庫 |
| 不動産・物品賃貸業 | ㈱セントラルリース |
| 教育・学習支援業 | 星と森の詩美術館 (㈱丸山工務所)、(学) 日本航空学園<石川> |
| 医療・福祉 | (福) 豊生会、メディカルケア㈱、宝塚こうだ整形外科スポーツ・関節クリニック (福) 上越福祉会、(福) 常陽会 |
| 複合サービス | 越後さんとう農業協同組合 |
| 他に分類されないサービス業 | 環境資源開発㈱、㈱グラスト、㈱セキヤ、税理士法人ホサカ事務所、㈱ナガサワホールディングス、㈱ネクセライズ、長岡商工会議所、特定非営利活動法人エース |
| 地方公務・国家公務 | 大津市消防局 |



地域貢献活動

レポート

産業大学×柏崎サイズ×高柳町観光施設・商店で「一人が元気になる高柳」の魅力を紹介

観光ビジネス分野（春日ゼミ）3年の女子学生4名が高柳町を回って紹介施設を選定し、自らがモデルになって案内したり、紹介記事を書いたりフリーマガジンの「柏崎サイズ」令和3年・夏号（発行部数3万部）で5ページにわたり「総力特集・高柳町」を発信しました。

撮影当日は早朝より表紙の写真撮りから始まり、じよんのび村をバックに「わかモデル」の4人が、カメラマンの「モーツト」に楽しくさらに楽しく「」の声に、すぐに柔らかな表情で自分を出せるようになり、夕方まで頑張ってくれました。

高柳町の方からは、冊子の感想として「こうやって紹介してもらい、高柳には良い施設や自慢のお店が数々あつて、改めていい町だと思った」、「若いお嬢さんたちの紹介で、全体が明るいイメージになって、良かった」冊子を持って、お店に来てくれた」など好意的な声をいただきました。

また、学生たちからの「高柳のことがスキ」では、「長年愛され続けるお店などが幾つもある、地域への愛着や作るモノへのこだわりをとても感じた」、「みんなが協力し合つて、地域を盛り上げて行くという繋がり、温かさが魅力」、「のどかな農村の雰囲気心地良かった」、「高柳は日常を忘れて開放的な気持ちになれる」などが挙げられました。

今回の3者によるコラボの情報発信は、下見から撮影場所、行程、モデルとしての経験、紹介記事作成など学生にとつても貴重な実践活動になりました。



じよんのび温泉楽寿の湯での様子



フリーマガジン「柏崎サイズ」

柏崎信用金庫との産学金連携による商品開発・PR動画制作

本学と柏崎信用金庫は2017年に連携協定を締結し、これまで様々な形で連携して地域社会への貢献、人材育成を目指してきました。今年度は柏崎信用金庫がコーディネートとなって、地域の企業、飲食店から相談のあった商品開発やPR活動を権田ゼミナール（まちづくり・地方行政分野）が受託し、学生目線でのアイデアを活かして課題解決に取り組んできました。

市内であんこの製造販売や甘味処を経営する「いろはや製菓所」からは、自社開発商品である「あんこジャム」のPR動画の制作を依頼されました。食べたい場面やレシピを考え、話し合いや撮影会を重ねて、技術よりも個性やインパクトを重視した若者らしい30秒程度のPR動画をコツコツと制作し、順次SNSで発信しています。

「平田表具店」とのコラボレーションでは、伝統技術を活かした商品「蒔絵コースター」に柏崎の名所、名物をモチーフにしたキャラクターをあしらった新たなパッケージを学生が制作しました。柏崎港観光交流センター「夕海」などで実際に販売して手応えを得ることができました。

これらの取り組みでは、学生たちは単にアイデアを提案するだけでなく、撮影機材やPC等も駆使して自分たちで動画やパッケージ等を完成させ、それを地域や世界に発信するところまでを経験しています。地域の企業に貢献すると同時に、学生もまた自身のスキルアップや達成感といった多くのものを会得できる貴重な機会となっています。



「夕海」で販売された「蒔絵コースター」



「あんこジャム」PR動画撮影の様子

留学生がシンポジウムに参加しました

本学は公益財団法人柏崎地域国際化協会と連携して、市民向けの国際理解の促進や市内在住の外国人との交流支援等の事業を行っています。

昨年の11月27日（土）柏崎市民プラザで同協会主催の「多文化共生シンポジウム」がわたしたちみんな柏崎人」が開催されました。本学からは留学生の4年生コラトタゲチャトミニ、ペレラーさん（スリランカ）がパネリストとして参加しました。このシンポジウムは、「柏崎市がより住みやすい地域になるためには何が必要か」、市内在住の外国人5名の視点と実体験を話してもらい、それを聞いた地域の方々との意見交換をする形で行われました。

ペレラーさんはシンポジウムの中で、「私が日本で生活していて感じている良い部分、悪い部分を日本人の皆さんに直接伝える貴重な機会でした。また、様々な国のシンポジストのお話を聞くことで、他の国の方が日本に対してどのように感じているか知ることができました。今回のシンポジウムを通じて交友関係も広がり、本当に良い経験となりました。」と充実した表情で話していました。

本学には現在11カ国の国と地域から留学生が来ています。これらの学生が今後柏崎市の国際化に貢献できるよう、引き続き連携を図りながら取り組んでいきます。



シンポジウムに参加した、4年生のコラトタゲ チャトミニ、ペレラーさん（右）

生涯学習事業・聴講講座等のご案内

本学「聴講講座」は、一般の方々や年齢や学歴等に
関係なく学生たちと一緒に大学の授業を受けることが
でき、試験や成績評価がないので気軽に受講できる制
度です。

また、「生涯学習友の会」は、生涯学習事業を支援し、
実り多い生涯学習の実現を図るとともに会員相互の親
睦を深めることを目的とする会員制度です。

聴講講座の申込や友の会の入会は、毎学期はじめに
募集しておりますので、ご興味のある方はぜひお申込
みください。

年会費 二千元

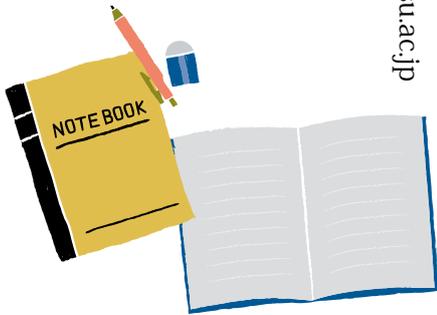
※聴講講座受講料が1科目二千元引き
(通常1科目15週で一万円)

【お問い合わせ先】

新潟産業大学地域連携センター事務室

Tel・0257(24)8441

E-mail: renkei@adansu.ac.jp



ネットの大学 managara 開設からまもなく1年

講義をはじめとする大学生活のすべてがネット上で完結する、ネットの大学 managara (経済学部経済経営学科 通信教育課程) は、令和3年4月の開設からまもなく1年を迎えようとしています。夢を追いかけながら、働きながら、自分のやりたいことを見つけながら、などライフスタイルに合わせて第1期生の学生たちが学びを深めているほか、ネットを活用した学園祭「managara祭」など様々なイベントも実施しています。



4月に zoom でのオンライン入学式を挙行



11月に第1回学園祭「managara祭」をオンラインで開催
(写真上：最後に撮影した集合写真
下：チームビルディングを養うグループワークに挑戦)

☆メディア授業受講制度

新潟産業大学に在籍する学生は卒業単位124単位のうち60単位までを「通学不要」で学べるしくみを整えています。通信教育課程と連携することによる、本学ならではの特長のひとつです。

※この制度には、いくつかの留意点がございます。詳しくは必ず大学にお問い合わせください。

オンラインでオープンキャンパスを開催しています。

詳細はホームページをご覧ください。

お問い合わせ先「ネットの大学 managara 教育相談室」

Tel: 0120 (836) 047 E-mail: managara_nyushi@ada.nsu.ac.jp



INFORMATION

学生広報チームが 様々な情報を発信しています



ゼミや部活動、学内イベント、学生の日常など本学の魅力を学生の目線で積極的に取材し、Twitterで発信しています。ぜひご覧ください。



@NSU_gakuseikoho (NSU学生広報) →

春の特別オープンキャンパスを開催します

【開催日】令和4年3月19日(土)



内容 学部、学科概要説明・入試、奨学制度概要説明・キャンパスツアー・在学生とのフリートークなど

※状況により内容を変更する場合がございます。最新の情報は本学HPをご覧ください。4月以降の日程も随時更新予定です。



お申し込み・お問合せ ☎ 0120-787-124 (入試・広報課)

学事日程 (2022年4月～9月)

| 月 | 日 | 行 事 等 |
|----|----------------|-----------------|
| 4月 | 2日(土) | 入学式 |
| | 4日(月)・5日(火) | ガイダンス・健康診断 |
| | 6日(水) | 春学期授業開始 |
| | 6日(水)～12日(火) | 履修登録期間 |
| | 8日(金)・9日(土) | 新入生学外合宿研修(予定) |
| 5月 | | |
| 6月 | 2日(木) | 創立記念日 |
| | 11日(土) | 個別面談・父母の会総会(予定) |
| 7月 | 27日(水)・28日(木) | 補講日 |
| | 29日(金)～8月4日(木) | 春学期定期試験期間 |
| 8月 | 5日(金) | 試験予備日 |
| | 6日(土) | 学生夏季休業開始 |
| | 10日(水)・12日(金) | 追試験 |
| | 16日(火)～29日(月) | 集中講義期間 |
| 9月 | 2日(金) | 秋学期卒業生発表・成績公開 |
| | 8日(木) | 再試験による秋学期卒業生発表 |
| | 21日(水) | 秋学期授業開始 |
| | 21日(水)～30日(金) | 履修登録期間 |
| | 23日(金) | 祝日授業日 |
| | 30日(金) | 9月卒業式 |



表紙の写真「米山大橋」

この写真は、本学写真部で経済経営学科4年の加藤賛汰さんの作品です。

「今回、柏崎市のシンボルとして市民に親しまれている米山大橋を被写体に撮影しました。米山大橋を被写体にした写真は恋人岬から撮影された写真が一般的ですが、今回は敢えて米山を背にして撮影しました。ドローンを使って撮影することで普段見ない角度から撮影することができ、キャッチーながらも意外性のある構図にまとまったと感じています。」とコメントを寄せてくれました。

新潟産業大学基金 ご支援のお願い

新潟産業大学では、教育研究活動全般の充実・発展を図るため、広くご寄付をお願いしております。いただきましたご寄付は、「地域社会や企業を主体的に力強く支える人材の育成」という本学のミッション達成のために活用させていただきます。何卒、皆様の格別のご支援をお願い申し上げます。

(担当窓口 新潟産業大学 総務課 Tel.0257-24-6655 E-mail:soumu@ada.nsu.ac.jp)



青海波 (せいがいは)

無限に広がる穏やかな波に未来永劫と平和な暮らしへの願いが込められた文様。この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

発行日/令和4年2月

編集・発行/新潟産業大学 新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL0257-24-6655 FAX0257-22-1300 <https://www.nsu.ac.jp/>